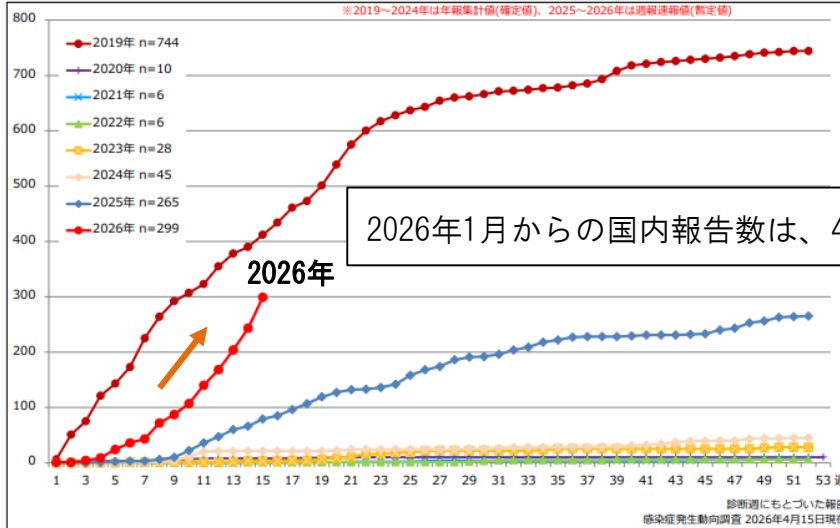


国内で麻疹（はしか）の感染が増えています

県内での発生は確認されていませんが、全国的に増えているため注意しましょう。

1. 麻疹累積報告数の推移 2019～2026年（第1～15週）

Cumulative measles cases by week, 2019-2026 (week 1-15) (based on diagnosed week as of April 15, 2026)



厚労省 麻疹 検索

2026年1月からの国内報告数は、4月15日まで299例です。



引用元: 国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト

- 発症すると、咳、鼻水、高熱、全身の発疹が生じます。（潜伏期間：10日程度）肺炎、中耳炎を合併しやすく、1,000人に1人は脳炎の発症や死亡につながっています。
- 空気感染が主な経路であり、極めて感染力が強く、免疫を持たない人が感染者に接するとほぼ全員が感染します。
- 最も有効な予防法は、ワクチン接種です。定期接種の対象年齢のお子さんは接種を受けましょう。また、過去のワクチン接種（2回）の有無を確認し、ワクチン接種歴がない場合は、感染に十分注意しましょう。



厚労省 定期接種 検索

海外へ渡航される場合は、感染症に注意しましょう！

水 食べ物 動物・蚊 に気をつけましょう

〈旅行前〉

- 渡航先の感染症情報を確認しましょう。
- 必要に応じて予防接種を検討してください。

〈旅行中〉

- 食べ物や水を介した消化器系の感染症を避けるため、生水・氷・カットフルーツなどは避け、食事は十分に火が通った信頼できるものを食べましょう。

- 蚊・マダニなどが媒介する感染症を避けるため、服装に注意し、虫よけ剤を活用しましょう。また、動物との不用意な接触は避けましょう。

〈旅行後〉

- 帰国時に症状があったり、渡航先での出来事で健康上心配なことがあれば検疫所に相談しましょう。
- 発症まで一定期間を要する感染症もあります。帰国後症状が出た場合は、速やかに医療機関に相談し、海外渡航をしていたことを伝えましょう。



厚生労働省検疫所
FORTH 検索

